

保護者等からの事業所評価の集計結果									
事業所名		公表							
児童発達センター ほこあはこ		公表日 2026年 2月 1日							
利用児童数 2026年2月1日 44名		回収数 36							
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	無回答
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31	3	1	1	・広すぎず狭すぎず、丁度良い。 ・スペースは十分に確保されています。 ・活動中の様子を見学したことがないため。		0
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	32	3	0	1	・適切です。 ・いつも手厚く見て頂いてありがとうございます。 ・活動中の様子を見学したことがないため。		0
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	1	0	5	・配慮されています。		0
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	1	0	2	・環境良いと思います。		0
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	2	0	0	・子どもの表情や動きを観て理解し、本人のペースに合わせて、自発的な行動を待つというスタンスをとっている。 ・支援されていると思います。		0
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35	1	0	0	・合っています。 ・外出、おやつなど、入所時に説明して頂いた通り、実施して頂けていると思います。		0
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35	0	0	0	・保護者の希望を踏まえつつ、本人の表情や身体の動きを観た上で、個別支援計画を詳しく丁寧に作成している。 ・きちんと作成されています。 ・分かりやすく丁寧な支援をいただいていると思います。 ・本当に息子のことをよく理解してくださっている内容で驚きと感謝です。	1	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36	0	0	0	・本人、家族、移行、各々の支援について、支援目標と内容に分けて具体的に明示している。 ・設定されていると思います。		0
	9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	0	0	1	・送迎の車の乗り降りや入室、様々なプログラム、自由時間、退室に至るまで、個別支援計画にある支援の方針が貫かれている。 ・沿った支援が行われています。		0
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	0	0	1	・グループワーク、おやつ作り、造形、運動遊び、音楽、公園遊び、買い物等、多彩な活動が用意されています。 ・毎月、色々な活動があり、本人も大変楽しんでいる。色々な体験が、成長に繋がっている。 ・工夫されています。 ・子どもがプログラム表を見ていつも楽しみにしています。		0
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8	2	8	18	・個人的には特に求めておりません。 ・必要と感じておりません。 ・希望しません。		0
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35	1	0	0	・丁寧な説明がありました。		0
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	0	0	0	・「個別支援計画」の他「専門的支援実施計画シート」をもとに、本人に対するアセスメントと共に具体的な支援内容と実施方法が説明された。 ・説明がありました。		0
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	6	8	7	・行われていると思います。 ・きょうだい児の交流などあると嬉しいです。		0

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	36	0	0	0	・連絡帳の記入欄や送迎時の伝達により、子どもの直近の体調や様子、発達の変化について情報交換している。 ・共通理解出来ていると思います。 ・いつも細かく連絡量にその日の子どもの様子が書いてあり、安心して預けることができています。		0
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	0	0	0	・行われています。		0
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35	1	0	0	・共感的に支援されていると思います。		0
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1	15	11	・⑩と同じです。 ・保護者会や利用者の保護者の方とお会いしてお話しできる機会があると嬉しいです。 ・必要と感じておりません。 ・希望しません		3
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	1	0	3	・適切な対応されています。		3
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	0	0	0	・こどもは限られた言葉しか話さないが、表情や動きを基に気持ちを共有したり、本人のベースに合わせたり、声掛けをしたりしている。 ・配慮されています。		3
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	32	1	0	0	・発信されています。		3
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	1	0	1	・されていると思います。		3
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	2	0	4	・訓練実施されています。 ・入口に鍵をかけて、脱走防止などしていると感じるが、説明はなかった。		3
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30	1	0	2	・行われていると思います。 ・避難訓練の回数が少ないかも?と思いました。(たまたま自分の子どもが利用していない日に行なわれているだけかもしれません)		3
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	1	0	0	・行われていると思います。		4
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31	2	0	0	・説明されています。		3
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	33	0	0	0	・最近よく声が出るようになつてることから、安心して自分を出すことが出来るようになっていると思われる。 ・安心感を持ち通所しています。 ・スタッフさんが大好きですが、子どもから伝わってきます。親も安心してお願いできます。		3
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	32	0	0	1	・メンバーや事務室の様子を見る事や、パラノリーンやおやつ作り等の好きなプログラムがあり、通所を楽しみにしている。 ・言葉はありませんが、ぼこあぼこに来るととても嬉しそうにしている。 ・とても楽しみにしています。 ・子どもはぼこあぼことスタッフさんが大好きで、いつも楽しく通所しています。 ・いつも楽しみにします。 ・いつもありがとうございます。 「明日ディだよ！」と伝えると、自分でファイルを準備します。		3
	29	事業所の支援に満足していますか。	33	0	0	0	・子どもの表情や身体の動きを観ながら、気持ちを読み取り、見守る姿勢を大事にすることで、本人の自発性を引き出している事に感謝している。 ・大満足です。 ・たまに土曜日も利用させて頂き、きょうだい児との時間も作れるので本当に感謝しています。		3

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達センター（ほこあほこ）

公表日 2026年 2月 1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	21	0	・安全という面では大きい事故も少なく、あつたとしても人数という点ではなさそう。		無回答 0
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	20	1	・子どもの時間に合わせて、職員を配置し、工夫していると思う。 ・どんな日も、2人いると安心はある。	・時と場合によっては足りない感じる時もある。	0
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	21	0	・スペースやプログラムの内容を分ける等工夫されている。 ・どのような順番で何をするのか？何をする場所なのか視覚的に給カードなどを貼っている。	・静かに過ごしたいメンバーと、賑やかな方々へのそれぞれのニーズと対応に困ることもある。 ・ついで静かなメンバーへの対応が後手になることが多い。	0
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	20	1	・スペースやプログラムの内容を分ける等工夫されている。	・静かに過ごしたいメンバーと、賑やかな方々へのそれぞれのニーズと対応に困ることもある。 ・ついで静かなメンバーへの対応が後手になることが多い。 ・フロアの掃除はもう少し丁寧に…とは	0
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	21	0	・スペースやプログラムの内容を分ける等工夫されている。 ・小部屋などが用意されている。	・静かに過ごしたいメンバーと、賑やかな方々へのそれぞれのニーズと対応に困ることもある。 ・ついで静かなメンバーへの対応が後手になることが多い。	0
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	20	1		・振り返りはまだまだ不十分。	0
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	3		・詳細不明。 ・わからない為 ・つなげているのか？分からぬ。 ・知らない	2
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	0	・ミーティングなどを通して行われている。		1
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	5		・詳細不明。 ・わからない為 ・不明。 ・知らない	2
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	21	0			0
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムを作成・公表されているか。	21	0			0
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディーサービス計画を作成しているか。	21	0			0
	13	放課後等ディーサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	20	0			1
	14	放課後等ディーサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	19	1		・もう少し、全体で認識する必要を感じる。統一感のある支援になるといい。	1
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20	0			1
	16	放課後等ディーサービス計画には、放課後等ディーサービスガイドラインの「放課後等ディーサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	20	0			1
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	19	1	・聞いてもらえることもあり、考えている印象がある。四季も大切にしていて良い。 ・職員が行っている。		1
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	21	0			0
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	21	0			0
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	19	1	・都度職員より指示・伝達がある。 ・支援開始時間が、スタッフにより異なるため、業務連絡などで確認している。	・事前にその日のイメージを共有する方が、スタッフ間でもっとしていけたらいいなと思う。	1
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	18	2	・振り返りの時間が無いことが多いが、なるべくその場にいる職員で共有している。業務連絡で確認。（後日） ・短時間でも声をかけ合い、支援を振り返り共有できるように努力している。	・支援終了時間も異なるため、全員での振り返りは出来ていない。	1
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	21	0	・振り返りの時間が無いことが多いが、なるべくその場にいる職員で共有している。業務連絡で確認。（後日）		0

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	21	0			0
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	19	1			1
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	20	0	・適切に対応されていると思うが詳細不明。 ・と思いたい。		1
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18	2	・適切に対応されていると思うが詳細不明。	・分からぬいため	1
	27	地域の保健・医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	5	・適切に対応されていると思うが詳細不明。	・分からぬいため ・知らない	2
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校両親の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	20	0	・適切に対応されていると思うが詳細不明。		1
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	6	・適切に対応されていると思うが詳細不明。	・分からぬいため ・「いいえ」ではなく△ですね。 ・きっとしてる。	2
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	16	3	・適切に対応されていると思うが詳細不明。	・分からぬいため ・「いいえ」ではなく△ですね。 ・きっとしてる。	2
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・マイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12	6	・適切に対応されていると思うが詳細不明。	・分からぬいため ・知らない	3
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	9	・適切に対応されていると思うが詳細不明。 ・たまに公園などで地域の人と会う。	・分からぬいため ・分かりません	2
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	12	6	・適切に対応されていると思うが詳細不明。	・分からぬいため ・分かりません	3
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	20	1	・適切に対応されていると思うが詳細不明。 ・職員が面談や電話をしているのを見る。		0
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	7	・適切に対応されていると思うが詳細不明。	・分かりません ・「いいえ」ではなく△ですね。	2
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	19	0	・適切に対応されていると思うが詳細不明。 ・面談で丁寧を感じる。		2
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	19	0	・適切に対応されていると思うが詳細不明。		2
	38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	19	0	・適切に対応されていると思うが詳細不明。		2
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談が必要な助言と支援を行っているか。	19	0	・適切に対応されていると思うが詳細不明。		2
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	9	・適切に対応されていると思うが詳細不明。	・分からぬいため ・分かりません ・してないかなあ。	3
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	18	1	・適切に対応されていると思うが詳細不明。	・知らない。	2
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用するごとにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	20	0	・適切に対応されていると思うが詳細不明。		1
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	20	0	・適切に対応されていると思うが詳細不明。		1
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	19	0	・適切に対応されていると思うが詳細不明。		2
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	6	・適切に対応されていると思うが詳細不明。 ・「小平つながりフェス」のような交流事業にこれからも積極的に参加できると良いと思う。		2
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	21	0	・訓練の機会があれば参加したい。		0
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	21	0			0
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	20	1		・しているけど…もう少し…。活動記録の中…?バッと見て、傾向とか?	0
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18	3	・医師の指示が出ている利用者は現在いない。	・知らない。	0
	50	安全管理計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	21	0	・適切に対応されていると思うが詳細不明。		0
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全管理に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	20	0	・適切に対応されていると思うが詳細不明。		1
	52	ピアリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	20	0			1
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	21	0			0
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	21	0			0

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達センター ぼこあほこ		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 29日	~	2026年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 44名	(回答者数) 36名	
○従業者評価実施期間	2025年 11月 29日	~	2026年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 25名	(回答者数) 21名	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 29日		

○分析結果

事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること		工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多彩なプログラム ・プログラムのチーム立案	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムを1人で決めずに、職員間で相談して決めている。 ・メンバーに意見を聞く機会も設けメンバーの意見を取り入れる取り組みをしている。 ・同じプログラムでも進行役を変え、変化を付けるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの機会を増やす。 ・活動内容自体を話し合いとして、メンバーの意見を主とした活動を企画する。 ・新しいプログラム、活動内容を考える。
2	・日々の記録	<ul style="list-style-type: none"> ・活動後全メンバーの記録を付け次の活動につなげるようしている。 ・記録を活動前に確認して、当日の活動に活かしている。 ・記録の書き方を研修会で取り上げている。 ・記録に職員がコメントしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し記録へのアクセスを簡易にする。 ・記録に対し意見を言える風土を作る。
3	・個別支援計画の質と実行力が高い	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の記録をもとに変化に気を配り気が付いたこと、などを残している。 ・特記事項や、気にした方が良さそうなことは業務連絡としてすぐに共有している。 ・研修会などでも意見を拾う機会を設けるようにしている。 ・方針を決めたらすぐに共有し実行している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・方針を考えるカンファにもっと多くのスタッフが関わるようにする。

事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること		事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・外部との連携 (地域交流・医療連携・保護者会・就学前施設など)	<ul style="list-style-type: none"> ・支援や事務業務で手一杯になることが多く、外部機関との会議や連絡調整には時間がかかるため、連携の重要性を理解していても、業務優先度が低くなりがちである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施の有無以前に「見えにくい」点が課題と考えています。下記情報発信で連携についても取り上げる。 ・外部のイベントや連絡会に参加し、関係を構築する。
2	・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフとの共有は支援に関することが多いが、それ以外お知らせなどが後回しになりがちである。全体の業務量が多く手が回らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、簡単に情報発信できる仕組みを検討する。 ・研修会の内容や資料を発信する。
3	・職員間の振り返り・共有時間の不足	<ul style="list-style-type: none"> ・業連で支援の共有は行われているものの、オンラインで相談したり共有したりする部分に課題があります。出退勤の時間がバラバラなこと、活動終了後も事務が残っている事などが振り返り、共有の時間の不足に繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、事務時間を減らし振り返りや共有の時間も確保する。